

## ハイキング教室「難場通過・岩」実技 感想文

- 【日時】 2019年5月19日(日): 晴れ  
 【場所】 古賀志山 北登山道から入った枝道難場  
 【スタッフ】 主任講師: O  
 講師: H、Y、Y (SL)  
 アシスト: S、S、T  
 サポート: O  
 SL: K  
 【受講者】 15名

### 【内容】

- ・難場通過時における注意すべきことと安全な歩き方の習得
- ・クライムハイストを用いたフィックスロープへの自己確保トレーニング
- ・ムンタヒッチによる緩斜面での懸垂下降トレーニング
- ・必修ロープワークの復習と応用シーンの確認
- ・フィックスロープを設置しクライムハイストで実際の難場登攀を体験

難場を通過する…鎖場や丸木橋のことかと思っていました。伊予ヶ岳ほど怖くはないだろう、なんて。しかしそれは道無き道に行くことだったのです。切り立った断崖を全員がどうやって超えるのか？達人が先陣を切ってロープを張り、先輩方に教わりつつ、どこに手や足を乗せるのか見つけながら自分を動かす。老骨に鞭打って。



ヘルメットのご紐を締め、ハーネスにはカラビナ・スリングをセットして出発準備完了

岩と岩が離れている。一体どこに足を掛けるのか？「この膝に足を乗せて。」という声がする。一瞬、「追憶」のロバート・レッドフォードがよぎったが、容赦ない現実である岩に飛びついた。今来た道を降りるのかと思ったら言葉が出なくなりましたが、別の道を降りてよいとお達し。

崖を降りる…この未解決の課題がまだ崖のように私の前に立ちはだかっています。解

決する時は来るのでしょうか？…まだ呆然と考えています。花だけを追い求めていた私が？優しくカッコいい先輩方、頼らせていただきました。お蔭様で全員無傷で生還しました。本当に有難うございました。（記：M. K.）

5月16日（木）に行われた座学に続いて、5月19日（日）の実技講習に参加した。総勢20数名、4班に分かれての講習だった。

この5月に入会したばかりの私は、初心者を対象としたA班で、文字通り手取り足取り、実技を教えていただいた。ガレ場では、足の置き方、運び方をはじめ、体がふらつかないようにするコツや足を滑らせないための方法などを教えていただいた。

岩場では、少しずつ難易度を上げながら慎重に講習を進めてくださった。

フリクションヒッチを使っでの登下降、ムンタによる懸垂下降も意外なほど恐怖心を抱くことなく行うことができた。こんなふうのひとつひとつ技術を身につけていけば、いつかは高い山に行けるかもしれない、と思えてきた。（記：K.H.）



講師が固定したフィックスロープにクライムハイトをセット、確保出来ているかを安全な場所で各自確認



難場通過実技の最終エリア、確実なクライムハイト無しに突破するにはあまりに危険な岩場！午前中のトレーニングの成果が試される

当日は暑すぎず森の中での研修には最適の一日でした。数時間の講習でしたが参加の皆さんの熱心さゆえスキルがどんどん向上する感じが感じとれました。実際の山行を安全に楽しむために、シーンに応じたロープワークテクニックを確実に活用できるよう繰り返し練習しましょう。自分も家で練習してますよ、ネコに邪魔されながら (=^・^=)

（講師：T. Y.）